

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュむろやま		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 27日		~ R6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R6年 12月 2日		~ R6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動もあれば、机上作業もあり、多様なプログラムで子ども自身も充実している。	活動会議で子どもたちの様子を思い浮かべながら、このような活動をしようと職員全員で考えています。	子どもたち一人ひとりの生活年齢・発達年齢や特性を職員全員がもっと理解し、支援をしていく。
2	子どもたちが安心感を持って通所している。	園や学校の送迎時や自由時間などにおしゃべりをして学校や園で起きたことをじっくりと聞く時間を設けています。	楽しかったこと・嬉しかったことをまわりのみんなにも知らせ、みんなで共感したり、喜んだりする時間を作っていきます。
3	子どもの活動のスペースが十分に確保されている。	運動支援室では、安全を考慮して、不要なものは置かないようにして、運動活動の時に設定をするようにしています。	自由時間でもサーキット設定をし、楽しんでバランス遊びや、ジャンプ遊びなどができるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高学年の下校時刻に合わせて、集団活動をする、高学年の宿題の時間を確保できない。	ご利用者様全員で集団活動をしている。	児発・低学年・高学年などで活動の時間を考える。
2	地域や園・学校などとの交流のきっかけがわからない。	地域交流の場をどのようぬい設けていいかわからない。	地域の文化祭や行事に参加し、事業所のことを地域に広めていく。
3			